



代っ子通信

令和6年8月30日

<第23号>

校長 平塚智康

平和集会 ～ 戦争や原爆、平和について考える ～

8月6日の全校登校日に平和集会を行いました。日本は世界で唯一の核被爆国であり、8月6日や9日に、戦争や核兵器について学び平和について考える機会を持つことは、日本人としてとても大切なことだと考えています。

まず、昭和の初めに起こった戦争のことや広島・長崎に落とされた原爆のことなどについて、私がプレゼンしながら解説しました。そして、集会の後、各教室で、戦争を体験した本校同窓会副会長の萬谷守男さん（95歳）から、戦争中の空襲や当時の生活の様子、子どもたちへのメッセージなどについてお話を聞きました。（動画の視聴）

私のプレゼンも萬谷さんのお話も、子どもたちにとっては少し難しい内容もありましたが、それでも子どもたちは、集会の終了後、それぞれに、戦争や平和について考えたことを綴ってくれました



<戦争や原爆についての解説>



<萬谷さんのお話>

6の1 ○○ ○○

ぼくは今日の校長先生のお話やよろずさんのお話を聞いて、戦争は絶対にしてはいけないと思いました。だれかが起こした争いで、関係のない多くの命が失われてしまうと、大切な人を失って二度と帰ってくることはないし、戦争なんてぜったいしたくないと思いました。

6の2 ○○ ○○

自分の国民を守るためと言っておきながら、自分たちが守るべき国民を危険にさらすなんてとても意味のない戦争だと思いました。国の一番上に立つ人のわがままで、何万人もの人の命を危険にさらすなんてとても許されることではないと思います。

6の3 ○○ ○○

日本は真珠湾を攻撃して優勢だったけど、ミッドウェーで負けて、最後にドカンと原爆を落とされて負けたけれども、ぼくは負けてよかったと思います。どうしてかというと、負けたおかげで日本は戦争のつらさをどの国より知って、もう戦争はしないと、第二次世界大戦が終わった後今までずっと平和だからです。

501 〇〇 〇〇

広島・長崎に落とされた原爆は怖いものだけど、わたしができることは、みんなとなかよくしたり、自分がしあわせに生きていることにありがたうと思いつながりながら生きることだと思いました。そして、戦争や原爆のおそろしさをわすれないようにしようと思いました。また、自分の生活はあたりまえじゃないことをわすれないようにします。

502 〇〇 〇〇

ばくだんの中でもとてもやばい“げんぱく”が広島・長崎に落とされ、とても多くの人がなくなったことがわかりました。毎日のおびえながら、ぼうくうごうに入るのが日常で、男子は年齢など関係なく兵隊に入れられることが本当にあったことなんだと思いました。戦争がおきないようにするために、選挙などで戦争は絶対しない！と言っている人たちを応援したり、戦争がおきそうになったら“ダメ！”という声をあげたりしていきたいです。

503 〇〇 〇〇

自分はこのじゅぎょうをするまで、自分には戦争は関係ないと思っていたけど、今も戦争をしている国があったり、なにかができない人もいます。なので、ぼくにもなにか少しでも手伝えることがないかさがして手伝えるようにしたいです。

Ⓟ 明治・大正・昭和と、日本も世界の国々も、大きな戦争をくり返してきました。そして、現在も世界では戦争をしている国があります。持続可能な社会の創造が世界的に論議される今日、戦争を回避し平和を維持することこそ、人類にとって最も優先される課題であると思います。これからの予測困難な時代を生きぬいていかなければならない子どもたちには、戦争や核兵器がいかに悲惨でむごたらしいものなのかを知り、どんなことがあっても、戦争という選択肢を選ばない、賢い国際人に成長して欲しいと願います。

獅子舞披露 ～地域の伝統を継承する子どもたち～

9月1日（日）服部神社の秋祭りが行われ、山代青年会の獅子舞が奉納されます。（台風が心配ですが…）子どもたちの希望者も獅子舞に参加し、お祭りを盛り上げます。全校登校日の朝、その獅子舞の一端を、山代青年会の皆さんといっしょに全校に披露してくれました。獅子舞には、それぞれの地域の型や伝統があります。山代温泉の獅子舞の伝統を継承し、この暑い夏休み期間に一生懸命練習してきた子どもたちの努力を称えたいと思います。お祭り本番でもがんばってね！

獅子舞の他にも、この夏休み、山代大田楽やこどもミュージカル、各種イベントでのチアダンスなど、代っ子たちのがんばりや活躍をたくさん見ることができました。参加した人たち、本当によくがんばりましたね。すごいよ！みんなのがんばりから、たくさんの人たちが元気やエネルギーをもらえましたよ。これからもいろんなことに積極的に挑戦し、自分の可能性をどんどん広げていってくださいね。

